

餘日乃見晴天時向^ニ海畔^ニ自然^ニ隕石^{ルアリ}其數不
少或似^ニ鏃^ニ或似^ニ鋒^ニ或白青赤凡厥壯體銳皆
向^ニ西^ニ莖^ニ則向^ニ東^ニ詢^ニ于故老^ニ所未^ニ曾見^ニ國司商
量^{スルニ}此濱沙地而徑寸之石^モ自古無有仍上言^ス
者其所進上兵像之石數十枚收^ニ之外記局
勅曰陸奥出羽并大宰府等若有^ニ機變^ニ隨宣
行之旦以上言^{セリ}亮制權變令禦不虞又轉禍
爲福佛神是先^ナ宣^ス終^ニ法奉^ニ幣^ニ云々

郡司の事ハ田川館の下に泊るを達府に程不
十餘里といふ府出羽郡井口の地との尺程

をいふ大室寺の地も府の内に一府
二城といふ路にあれば承和の頃ハ井口の地
よのこ城ありて大室寺の城を築ハその後
よりや雷電の事ハ吹浦村の古記并に太雷電
社の事を書引て先年大社考より記傳れを
畧之田川館より出羽府と古の六丁一里は
て又十餘里程あり——西濱徑寸の石もな
りれを其地古史の文云ふ府合を古六丁を
以て一里と志し其ハ六十里程或十又里
系極といふ事古月記に詳なり其経記